

報告事項 1

平成30年度 北陸地区スポーツ推進委員研修会

テーマ「CHANGE (かわる)」～体育からスポーツへ、エイジレススポーツの時代

1 期 日 平成30年6月23日(土)～6月24日(日)

2 会 場

1日目 (開会式、表彰式、講演、シンポジウム、情報交換会)

- | | |
|---------------|--------------|
| ・鶴来総合文化会館クレイン | (開会式～シンポジウム) |
| ・グランドホテル白山 | (情報交換会) |

2日目 (実技研修)

- | | |
|--------------|---------------------|
| ・松任総合運動公園体育館 | (ビーチボール、ボクシングサークット) |
| ・若宮公園体育館 | (スライディングペタンク) |
| ・松任青少年体育館 | (インディアカ) |

3 開会式

(1) 開会宣言	石川県スポーツ推進委員協議会 副会長	長瀬 祐二
(2) あいさつ	北陸地区スポーツ推進委員研修会	
	石川県実行委員会 会長	松本 章弥
	公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 会長	齊藤斗志二
(3) 祝 辞	石川県県民文化スポーツ部 部長	表 正人
(4) 歓迎のことば	白山市長	山田 憲昭
(5) 登壇者紹介		



実行委員会会長 あいさつ



歓迎のことば

4 表彰式

中ブロック表彰 富山県から1名が受賞 (合計12名)
表 美智子

北陸地区表彰 富山県から11名が受賞 (合計34名)
五十嵐淳子 石丸 純一 武田奈奈重 澤田志津子
安田 幸之 吉江 智晴 林 真寿美 立浪 由美
西野 忠志 桶川 慶子 池原 早苗

報告事項 1



代表授与



代表謝辞

5 講演

演題 「POST 2020」～エイジレススポーツの時代を生きる～
講師 日本体育大学 名誉教授 谷釜 了正 氏



エイジレススポーツとは、スポーツによる健康寿命の延伸を通して、生涯にわたり、世代を超えて楽しむことができ、障害者、女性、民族、宗教を問わずともに遊ぶことができるスポーツのことをいう。

POST 2020における少子高齢化に伴う外国人の増加など労働者の多様化に対して、また、地方の過疎化に対して地域の紐帶として、エイジレススポーツがコミュニケーションツールとして進展していくことが重要である。

健康を第一義的な目的にするのではなく、スポーツを楽しみ、他人との関係性を生きることを目的とし“こころ”と“こころ”を紡いて、相互に生きる活力を提供しあうことがエイジレススポーツの時代を生きる秘訣である。



休憩をつかって「ふるさと白山体操」



報告事項 1

6 シンポジウム

- テーマ 「スマートチェンジ活動」～スポーツをするきっかけをつくる発想～
- コーディネーター 石川県立看護大学 准教授 垣花 渉 氏
- シンポジスト 福井県 若狭町スポーツ推進委員 森井 宏一 氏
「誰もが身近にスポーツを楽しめる町に」
- 新潟県 妙高市スポーツ推進委員 峯村 弘 氏
「総合健康都市 妙高」を目指して～健康スポーツの振興とスポーツ推進委員の役割～
- 富山県 朝日町スポーツ推進委員 寺内 真 氏
「小さな町のスポーツ振興に向けたスマートチェンジ活動」
- 石川県 能登町スポーツ推進委員 吉田 義法 氏
「健康で活力あふれた人づくりを目指す生涯スポーツの推進」



若狭町では“わかさあじさいマラソン”“ステイックリング交流会”、妙高市では“ラジオ体操指導”天然温泉を活用したトレーニングプールでの水中運動を組合せた“健康保養地プログラム”、朝日町では“ビーチボール”や赤ちゃんからシニアまで参加できる運動を楽しむことが出来るイベント、能登町では“ソフトバレーボール大会”各種スポーツ大会等、各地域の特色を生かし、生涯スポーツとして、地域の和として、地域の活性化として活動されていることが大変よくわかった。また、今後としては少子高齢化に対応していくためにもスポーツ推進委員が自らスポーツを楽しみ、経験して、資質の向上を図り、スポーツを通じて心身の健康、健康寿命の延伸、地域の活性化を目指していきたいという熱意が伝わった。

7 情報交換会

地域の状況やその他の様々なことについて情報交換し、交流を深めた。



報告事項 1

8 実技研修 6月 24 日（日）

（1） ビーチボール（松任総合運動公園体育館）



全体で基本動作やルールなどを確認した後、実際に競技を行った。「いつでも、どこでも、だれでも」できるスポーツとして普及しているスポーツで、得点が入ったときには歓声や笑顔が自然と広がるスポーツであった。

（2） ボクシングサーキット（松任総合運動公園体育館）



60 分間で、ボクシングエクササイズ、筋コンディショニング、ストレッチ 3 つのエクササイズを音楽に合わせて行う、中澤恵子さん考案のオリジナル複合プログラムを行った。とても、激しい運動であった。

（3） スライディングペタンク（若宮公園体育館）



白山市のスポーツ推進委員協議会が考案したスポーツで、パックは木製の薄い円柱形を用いる新しいバージョンが紹介された。思ったよりもパックが滑るため、最初は力加減がとても難しいが、慣れるとだんだん白熱した争いが繰り広げられていた。

報告事項 1

(4) インディアカ（松任青少年体育館）



羽根のついたボールを手で打ち合うバレー・ボールタイプのゲームで、4人対4人でゲームを行った。直接手で打つため、初心者でもボールをコントロールしやすいのが特長である。バレー・ボールとルールが似ており、得点が入った時には歓声があがっていた。

9 参加者数

● 開会式・表彰式・講演会

福井	117名
新潟	143名
富山	165名
石川	272名
合計	697名

● 実技研修

	ビーチボール	ボクシング サーキット	スライディング ペタンク	インディアカ	合計
福井	19	6	36	12	73
新潟	30	40	46	3	119
富山	3	34	89	9	135
石川	25	49	68	47	189
合計	77	129	239	71	516